

## 2022年2月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年1月11日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 安川電機

コード番号 6506 URL <https://www.yaskawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小笠原 浩

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR部長 (氏名) 林田 歩 TEL 093-588-3076

四半期報告書提出予定日 2022年1月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	357,378	27.7	39,932	99.2	41,227	116.0	31,058	116.6
2021年2月期第3四半期	279,937	△9.6	20,041	4.8	19,083	△0.5	14,337	4.0

	親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭		円 銭	
2022年2月期第3四半期	30,774	118.5	45,997	176.9	117.73		117.66	
2021年2月期第3四半期	14,083	3.3	16,608	85.8	53.88		53.86	

#### （2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2022年2月期第3四半期	537,935		285,465		281,838		52.4	
2021年2月期	487,428		249,561		246,266		50.5	

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭		円 銭		円 銭	
2021年2月期	-		12.00		-	
2022年2月期	-		26.00		-	
2022年2月期（予想）					26.00	
					52.00	

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	485,000	24.5	58,000	113.4	59,500	119.0	42,500	124.5

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

決算に関する詳細情報として、当社ウェブサイト（<https://www.yaskawa.co.jp>）に本日公表の決算補足説明資料を掲載しております。併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	266,690,497株	2021年2月期	266,690,497株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	5,277,021株	2021年2月期	5,291,858株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	261,407,456株	2021年2月期3Q	261,388,915株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2022年1月11日（火）に証券アナリスト・機関投資家向け決算電話説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①2022年2月期第3四半期(2021年3月1日～2021年11月30日)の経営成績

当第3四半期における当社グループの経営環境は、コロナ禍からの正常化が着実に進み、製造業全般において生産の高度化・自動化を目的とした設備投資が積極的に行われました。特に半導体・電子部品市場はグローバルに拡大を続け、自動車市場におけるEV(電気自動車)化やリチウムイオン電池関連などの設備投資が加速しました。また、中国においては5Gや新エネルギーなどのニューインフラ投資が継続するなど、需要は期を通じてグローバルに高い水準で推移しました。

このような環境において当社グループの業績は、長期化する部品の供給不足などによって生産制約を受けたものの、モーションコントロールセグメントやロボットセグメントを中心に旺盛な需要を的確に捉え、前年同期に対し大幅な増収となりました。利益面については、物流費や原材料費の値上がりの影響を受けた一方、売上増加に伴う改善や経費管理の徹底などにより営業利益は前年同期に対し大きく増加しました。

なお、当第3四半期における当社グループの地域別の経営環境は以下のとおりです。

- 日本：半導体・電子部品市場をはじめ自動車市場などで設備投資は底堅く推移しました。
- 米国：半導体・自動車関連の需要が高水準で継続したほか、労働力不足を懸念した自動化投資が積極的に行われるなど、総じて拡大基調となりました。
- 欧州：経済の正常化にともなう市況回復が続き、自動車や工作機械などを中心に市場全体で需要は伸長しました。
- 中国：5G・新エネルギーなどニューインフラ関連や自動車関連の需要が好調に推移するなど、期を通じて活発な設備投資が継続しました。
- 中国除くアジア：韓国や台湾などで半導体や液晶関連の設備投資が伸長しました。

この結果、当第3四半期の経営成績は以下のとおりです。

	2021年2月期 第3四半期連結累計期間	2022年2月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上収益	2,799億37百万円	3,573億78百万円	+27.7%
営業利益	200億41百万円	399億32百万円	+99.2%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	140億83百万円	307億74百万円	+118.5%
米ドル平均レート	106.54円	110.50円	+3.96円
ユーロ平均レート	121.61円	130.67円	+9.06円
中国人民元平均レート	15.38円	17.12円	+1.74円
韓国ウォン平均レート	0.090円	0.096円	+0.006円

## ②セグメント別の状況

当社グループでは、事業内容を4つのセグメントに分けています。

当第3四半期の各セグメントの経営成績は以下のとおりです。

モーションコントロール	売上収益	1,729億20百万円	(前年同期比 +35.1%)
	営業損益	297億 3百万円	(前年同期比 +62.8%)
<p>モーションコントロールセグメントは、ACサーボモータ・コントローラ事業とインバータ事業で構成されています。</p> <p>グローバルな設備投資が積極的に行われたことからセグメント全体の販売は好調に推移し、大幅な増収となりました。利益面においては物流費や原材料費の値上がりの影響を受けたものの、売上の増加やインバータの新製品切り替え効果などにより増益となりました。</p> <p>[ACサーボモータ・コントローラ事業]</p> <p>日米・韓国などで半導体・電子部品需要が高い水準で継続しました。また、中国ではスマートフォンや基地局向けなどの5G関連需要が増加し、リチウムイオン電池や太陽光発電用パネルなどの新エネルギー関連分野でも積極的な設備投資が期を通じて行われたことから、販売は総じて好調に推移しました。</p> <p>[インバータ事業]</p> <p>欧州をはじめグローバルな市況回復により設備投資が活発化しました。さらに、中国では省エネ政策にともなう需要や繊維関連の需要などが拡大し、売上収益は増加しました。</p>			
ロボット	売上収益	1,310億49百万円	(前年同期比 +31.5%)
	営業損益	117億47百万円	(前年同期比 +178.4%)
<p>ロボットセグメントの主要市場である自動車においてはEV化がグローバルで加速し、新たな生産設備の投資を拡大する動きが継続しました。</p> <p>また、3C*などを中心とした一般産業分野においても、日欧米などで生産の高度化・自動化を目的とした投資が行われました。</p> <p>このような需要環境に加え、半導体ロボットの販売も好調に推移したことから、売上収益は大きく伸長し、営業利益は売上の増加や操業度の改善などにより大幅に増加しました。</p> <p>*3C:Computer、Communication、Consumer Electronics の3語の頭文字</p>			
システムエンジニアリング	売上収益	383億58百万円	(前年同期比 +9.2%)
	営業損益	13億 9百万円	(前年同期比 13億3百万円増加)
<p>システムエンジニアリングセグメントは、環境・社会システム事業と、産業用オートメーションドライブ事業で構成されています。</p> <p>売上収益は環境・社会システム事業を中心に前年同期比で増加し、営業利益は採算管理の徹底や経費抑制の継続などにより増加しました。</p> <p>[環境・社会システム事業]</p> <p>コロナ禍からの正常化により、国内の上下水道用電気システム関連および欧州の大型風力発電用電機品の販売は好調に推移しました。</p> <p>[産業用オートメーションドライブ事業]</p> <p>国内における鉄鋼プラント関連の売上は低調に推移した一方、海外の港湾クレーン向けの販売などは堅調に推移しました。</p>			
その他	売上収益	150億50百万円	(前年同期比 △12.1%)
	営業損益	2億67百万円	(前年同期比 5億25百万円改善)
<p>その他セグメントは、物流サービス事業などで構成されています。</p> <p>売上収益は国内を中心に前年同期から減少した一方、営業利益は製品構成の改善などにより増加しました。</p>			

(2) 財政状態に関する説明

①資産 5,379億35百万円（前連結会計年度末比 505億7百万円増加）

現金及び現金同等物や営業債権、たな卸資産等の増加により、流動資産が前連結会計年度末に比べ365億45百万円増加しました。また、その他の金融資産や繰延税金資産、その他の非流動資産等の増加により、非流動資産が前連結会計年度末に比べ139億61百万円増加しました。

②負債 2,524億70百万円（前連結会計年度末比 146億3百万円増加）

短期借入金やその他の金融負債は減少したものの、営業債務や未払法人所得税、その他の流動負債等の増加により、流動負債が前連結会計年度末に比べ98億30百万円増加しました。また、社債（グリーンボンド）の発行等により、非流動負債が前連結会計年度末に比べ47億72百万円増加しました。

③資本 2,854億65百万円（前連結会計年度末比 359億4百万円増加）

利益剰余金やその他の資本の構成要素等が増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、需要環境は引き続き好調なもの、部品不足による生産影響を鑑み、2021年10月8日公表の連結業績予想を据え置きいたします。

なお、2021年12月1日から2022年2月28日までの期間における平均為替レートは、第2四半期決算発表時点の計画から見直し、1ドル＝109.0円から113.0円、1ユーロ＝129.0円から128.0円、1元＝16.80円から17.80円、1ウォン＝0.093円から0.095円といたします。

本資料に記載されている連結業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	50,953	52,632
営業債権	127,577	145,032
たな卸資産	101,494	117,535
その他の金融資産	1,961	1,864
その他の流動資産	21,437	22,904
流動資産合計	303,423	339,969
非流動資産		
有形固定資産	86,475	86,959
のれん	6,604	6,636
無形資産	17,917	17,548
使用権資産	12,529	12,009
持分法で会計処理されている投資	9,009	9,917
その他の金融資産	30,949	39,130
繰延税金資産	14,473	17,219
その他の非流動資産	6,045	8,544
非流動資産合計	184,004	197,966
資産合計	487,428	537,935

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	61,064	73,756
借入金	29,315	22,568
未払法人所得税	2,115	6,639
リース負債	2,451	2,536
その他の金融負債	13,558	4,456
引当金	904	1,131
その他の流動負債	45,137	53,289
流動負債合計	154,548	164,378
非流動負債		
社債及び借入金	35,682	38,423
リース負債	9,095	8,623
その他の金融負債	155	235
退職給付に係る負債	29,827	30,053
繰延税金負債	1,183	2,500
引当金	3,730	4,800
その他の非流動負債	3,644	3,454
非流動負債合計	83,319	88,091
負債合計	237,867	252,470
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	30,562	30,562
資本剰余金	28,042	28,011
利益剰余金	204,150	225,952
自己株式	△22,023	△21,968
その他の資本の構成要素	5,535	19,281
親会社の所有者に帰属する持分合計	246,266	281,838
非支配持分	3,294	3,626
資本合計	249,561	285,465
負債及び資本合計	487,428	537,935

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年 3月 1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年 3月 1日 至 2021年11月30日)
売上収益	279,937	357,378
売上原価	△194,508	△231,934
売上総利益	85,428	125,444
販売費及び一般管理費	△66,196	△85,797
その他の収益	1,173	1,184
その他の費用	△364	△899
営業利益	20,041	39,932
金融収益	449	707
金融費用	△1,424	△882
持分法による投資損益	17	1,469
税引前四半期利益	19,083	41,227
法人所得税費用	△4,745	△10,168
四半期利益	14,337	31,058
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	14,083	30,774
非支配持分	254	284
合計	14,337	31,058
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	53.88	117.73
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	53.86	117.66

## （要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年 3月 1日 至 2020年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年 3月 1日 至 2021年11月30日）
四半期利益	14,337	31,058
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融 資産の純変動額	1,695	5,341
確定給付制度の再測定額	645	982
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持 分	19	10
合計	2,360	6,335
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△81	8,599
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動 額	△7	3
合計	△89	8,603
その他の包括利益合計	2,271	14,938
四半期包括利益合計	16,608	45,997
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	16,353	45,482
非支配持分	255	515
合計	16,608	45,997

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2020年3月1日 至 2020年11月30日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2020年3月1日残高	30,562	28,161	194,558	△22,109	△2,810	228,362	2,805	231,167
四半期利益	—	—	14,083	—	—	14,083	254	14,337
その他の包括利益	—	—	—	—	2,269	2,269	1	2,271
四半期包括利益合計	—	—	14,083	—	2,269	16,353	255	16,608
自己株式の取得	—	—	—	△4	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	3	—	91	—	95	—	95
剰余金の配当	—	—	△9,933	—	—	△9,933	△124	△10,058
株式報酬取引	—	△72	—	—	—	△72	—	△72
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—	15	15
子会社の支配喪失を伴わない変動	—	△1	—	—	—	△1	△74	△76
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	323	—	△323	—	—	—
その他	—	—	△304	—	—	△304	—	△304
所有者との取引額等合計	—	△70	△9,914	87	△323	△10,220	△184	△10,404
2020年11月30日残高	30,562	28,091	198,727	△22,022	△864	234,494	2,877	237,372

当第3四半期連結累計期間（自 2021年3月1日 至 2021年11月30日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2021年3月1日残高	30,562	28,042	204,150	△22,023	5,535	246,266	3,294	249,561
四半期利益	—	—	30,774	—	—	30,774	284	31,058
その他の包括利益	—	—	—	—	14,707	14,707	231	14,938
四半期包括利益合計	—	—	30,774	—	14,707	45,482	515	45,997
自己株式の取得	—	—	—	△4	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	4	—	59	—	64	—	64
剰余金の配当	—	—	△9,934	—	—	△9,934	△183	△10,118
株式報酬取引	—	△56	—	—	—	△56	—	△56
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社の支配喪失を伴わない変動	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	962	—	△962	—	—	—
その他	—	21	—	—	—	21	—	21
所有者との取引額等合計	—	△30	△8,972	55	△962	△9,909	△183	△10,093
2021年11月30日残高	30,562	28,011	225,952	△21,968	19,281	281,838	3,626	285,465

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。